

CityView!

「CityView!」では、市のイベントや地域的话题を、市民の皆さんにお届けします。
 <掲載した写真は、データで提供します。希望の方は問い合わせください。>



海を越え、山を越え、友好都市で新しい仲間と かけがえのない経験を



△更別村での入村式

海と大地子ども交流事業2026

7月31日から8月3日まで、本市と友好姉妹都市の北海道更別村との交流が実施され、市内小学校5・6年生10人が更別村を訪問しました。更別村の児童と一緒に村内施設を巡り、カーリングや郷土芸能「スッチョイサ踊り」体験をし、交流を深めました。来年は本市を会場に再会することを約束しました。



△出発時の集合写真

東松島市×東松山市中学生交流in大東文化大学

7月21日から7月23日まで、市内中学2年生19人が本市と連携協定を締結している大東文化大学東松山キャンパスを訪問し、本市の友好都市である埼玉県東松山市の中学生と、英語や歴史、栄養学、ニュースポーツを学ぶとともにキャンパス内の宿泊施設と一緒に宿泊し、交流を図りました。



△JALの航空機の前で記念撮影

東京都大田区との子ども交流

7月27日から7月29日まで、市内小学5年生20人が本市と友好都市の東京都大田区を訪問し、大田区の児童とモルックで交流を深めたほか、JALスカイミュージアムやマースク社のコンテナ船・コンテナ集積施設など、本市と所縁のある企業の施設見学などを行い、見聞を広げました。



△支援物資を積んだワゴン車が
熊本県八代市に向け出発

熊本地震被災地に物資届ける 市が貴凜庁と共同で支援展開

7月28日に熊本県で発生した最大震度7の地震を受け、野蒜で防災体験型宿泊施設キボッチャを運営する貴凜庁(株)は、翌29日にワゴン車に支援物資を積んで被害が大きかった同県八代市に出発。3週間の支援活動を展開しました。物資提供には市も協力し、簡易トイレやブルーシート、飲料水などを託しました。市は今後県との連携の中で、御船町に職員を派遣する予定です。



△現地見学



△学校訪問(おにぎり作り)

おにぎり大使がオーストラリアへ

7月29日から8月4日まで、「おにぎり大使」として石巻圏域からオーストラリアに中学3年生32人が派遣されました。本市からは6人が団員として参加。セントメアリー大聖堂やオーストラリア博物館などのシドニー周辺の見学のほか、学校訪問による文化交流、体験学習、ホームステイを行いました。

本市初の海外との締結

アメリカ合衆国ハワイ州マウイ郡と
友好都市提携盟約を締結



東松島市とアメリカ・ハワイ州マウイ郡は、震災と山火事という被災経験を活かした防災知見の共有や、教育・観光・経済など幅広い分野での連携強化を目的として、2026年7月7日(日本時間7月8日)にマウイ郡庁舎で友好都市提携盟約を締結しました。調印式には、渥美市長、石森議会議長、橋本市商工会長、海苔漁師相澤太氏、(一社)オデッセイ成澤みく代表理事のほか、立会人として在ホノルル領事館の安藤領事が参列しました。調印式に先立って行われたパネルディスカッションでは、渥美市長、橋本会長、相澤太氏の3名が東日本大震災からの復興に関するプレゼンテーションを行いました。

地域の皆さんと 意見交換



市政懇談会
宮戸地区皮切りに開催

地域の皆さんから市政に対する意見や要望を聴く、市政懇談会が宮戸地区を皮切りに開始しました。地域の皆さんからは人口減少対策のほか、大浜漁港の消波ブロック除去やガードレール修繕、街灯の修理、観光誘客の活性化など様々な意見が出されました。また開会前には、宮戸コミュニティ推進協議会から、大槌町林野火災被災地に対する義援金も預かりました。他地区の市政懇談会は10～11月に各市民センターを会場に実施し、令和9年度の予算編成に要望を反映させます。

(7月21日、あおみな)

▼市と市議会が18項目の対策等をまとめた要望書を提出



市と市議会が県に要望 農林水産業等の振興で18項目

「市農林水産業等の振興に関する要望会」では、市長と市議会が、地元県議会議員、県東部地方振興事務所長、県仙台地方振興事務所長などに対し、県営ほ場整備事業の推進、米の需給と価格安定対策、有害鳥獣駆除対策など18項目の要望書を提出しました。その後、要望箇所の視察と意見交換を行いました。

(7月15日、小野市民センターなど)



▼暑さに負けない熱戦が浜辺で繰り広げられました

夏空の下で 熱戦展開

東松島オープンビーチ テニス大会

JFBTビーチテニスツアー2026東松島オープンビーチテニス大会が開かれ、男女別のダブルスと、男女ペアのダブルスがそれぞれ繰り広げられました。選手たちは砂浜のコートで爽やかな波や風、夏空を堪能しながら活気あふれる熱戦を展開しました。

(7月19～20日、野蒜海岸)



▲全国から集った小さなライダーたち

大人顔負け ハングオン!

ランバイク北日本大会 東松島で初開催

ペダルのない小さな二輪車に乗り、自分の足で地面を蹴って進む「ランバイク」の北日本ブロック大会「ランバイクレボリューション」が東松島を舞台に初開催され、小学3年生以下を中心に全国から258人のライダーが集いました。子どもたちは大人顔負けのコーナリング技術(ハングオン)を見せるなど白熱のレースを展開しました。

(7月18日～19日、矢本東市民センター駐車場の特設会場)



▲岩隈久志さんによる投球指導

元メジャーリーガーの 岩隈さんらが指導

MLBカップ野球教室

「MLB CUP 2026 マイナー部門ファイナルラウンドin 石巻」(MLBジャパン主催)の一環で、元メジャーリーガーの岩隈久志さんと齋藤隆さん、マック鈴木さんによる野球教室が開かれました。約250人の球児が参加し、世界最高峰の投球や打撃、守備技術などを学んでいました。

(8月1日、鷹来の森運動公園)



黒須壽幸さん(元防犯実働隊長) に感謝状

本市防犯実働隊発足当時から活動してきた元防犯実働隊長の黒須壽幸さんが、宮城県警察本部長から感謝状を送られました。14日には市への報告があり、「パトロールの効果もあってか大きな事件等なく、なんとか30年務めることができました。皆さんのおかげです」と功績に感謝の意を述べました。

(7月14日)

東北・全国大会で ベストを尽くしたい



▲大舞台を前に決意を語った矢本一中・三中の生徒たち

矢本一、二中学生が決意表明

宮城県中学校総合体育大会および全日本少年軟式野球宮城県大会で好成績を収めた矢本第一、第二中学校の生徒23人が市役所を訪ね、8月の東北大会や全国大会を前に「ベストを尽くしていきたい」と決意表明しました。渥美市長も「スポーツ健康都市として、皆さんは誇り」と激励しました。出場競技は水泳、陸上、柔道、軟式野球で、それぞれがベストを尽くして試合に挑みました。

(7月30日、市役所)



▲大東文化大の落合教授が、地域の歴史を探る大切さを説いた

▲大東文化大の教授らが、子どもたちに実験を通して科学の面白さを伝えた

東松島市・大東文化大学共催 フレンドシップ公開講座

市と地域連携包括協定を結ぶ大東文化大学とのフレンドシップ公開講座が7月31日から8月2日までに東松島市内で開かれました。初日は同大文学部歴史文化学科教授の落合義明教授が市役所で「地域の力を歴史に探る」と題して講話を行い、8月1日と2日の親子サイエンス教室では、山が高くなる仕組みをバスポム(発泡入浴剤)を使った化学反応で再現したり、植物の葉がなぜ緑色に見えるのかを色素を分ける実験で学ぶなどしました。

歌ってしゃべって元気はつらつ

赤間しのぶさん、亀山益喜子さん百寿



▲赤間しのぶさん(写真中央)



▲亀山益喜子さん(写真中央)

矢本の赤間しのぶさんと西福田の亀山益喜子さんがともに、8月3日に100歳の誕生日を迎え、市が祝詞を贈りました。93歳まで原付バイクに乗っていた赤間さんは、最近は四輪の歩行器に切り替え、元気に「これからも頑張ります」と語っていました。デイサービスでいろんな人とおしゃべりする時間を何より楽しんでいる亀山さんは、「こうして生きていることで十分」と笑顔を見せていました。

(8月3日)

水田に住む生物の 実態を学ぶ



▲水田の生物を探している様子

市や宮城県、関係土地改良区で構成する東松島地区管理体制整備推進協議会は、鳴瀬桜華小学校の5年生を対象とした「田んぼの学校」を開催しました。児童たちは学校近くの水田に住むドジョウ、カエル、ヤゴのほか、アメリカザリガニ等を捕獲し、種類や生態系を調査しました。また、小学校付近の田んぼの水の流れの仕組みについても学習しました。

(6月25日、鳴瀬桜華小近くの水田)